

2014年12月22日

広島市議会議長 碓井法明 殿

日本共産党広島市議員団  
幹事長 村上あつ子  
副幹事長 近松さと子  
中原ひろみ

### 真相究明を求める調査特別委員会設置の申し入れ

広島市議会12月定例会において、藤田博之議員の一般質問に対する懲罰動議と、懲罰動議を提出した7名の議員に対する「処分要求」に関する懲罰特別委員会が設置され、委員会での審議と採決により7名の議員の「戒告」処分が決定されました。

我が広島市議会が、議員同士で「懲罰」を与えあうような事態になったことは、誠に情けないことであり、市民の付託を受けた市民の代表たる議会として恥ずかしい限りです。

藤田議員の発言内容は、広島市議会と広島市政が「お金で政治がゆがめられている」との驚くべき告発であり、このまま真相にふたをすることはできません。

多くの市民が報道やインターネットを通じて、広島市での「政治とカネ」の問題について関心をもち、今後、広島市議会が議会としてどう対応するのかが問われています。

市議会と市政における「政治とカネ」の問題をハッキリさせなければ、市民のなかにますます、憶測と疑惑を広げ、市議会の信頼と権威を貶めることとなります。

よって、議長におかれましては、真相を不明にしたまま幕引きするのでなく「市長選挙での金銭授受」「安佐市民病院の移転に係るみかえり政治」の真相究明を行う調査特別委員会を設置し、議会の調査権を発揮されることを申し入れます。

以上